



## 54-59

### — 数字の裏側に —

校長 鈴木 英 顕

54本塁打、59盗塁（54-59）、WS（ワールドシリーズ）制覇。MVP受賞。ドジャースの大谷翔平選手のことです。大谷選手は、MLB史上初となる54/59という偉大な歴史的記録をレギュラーシーズンで残しました。レギュラーシーズンでは、毎日記録が更新されていくニュースに、日本中がワクワクしました。数字だけ見ても、まさに偉業です。そして、大谷選手が凄いのはその数字だけではありません。私たちが「ホームラン凄い！」と感想を持つだけで終わるのはもったいないのです。

本当の意味で彼に敬意を表するなら、彼が54-59を実現させるまでに、日々何をやっているのか、どんなことを積み重ねればそうなるのか。彼の考え方や過程を知り、その思想を自分に取り込み、そして実践する必要があると思います。

もし、みなさんが何かのプロを目指したり、学校生活や将来に大きな成功を求めたりするのなら、結果を出している人がどのようなことを考え、意識、思想を持ってそれを実行しているかを知り、そして自身もそれを実践し継続することを考えてみるのです。

大谷選手が成し遂げた偉業は、確かにものすごく凄いことだし素晴らしいことです。それに歓喜するのも分かります。

野球、スポーツ界に大谷選手が与えた影響は計り知れません。そもそも、こうやって大きな影響を与えてくれる人が同じ時代（世代）にいること、そのものが非常に稀有です。

でも、影響を受け取る側のアンテナの感度が低く、よい影響を受け取る気持ちを持たなければ、それは単なる強い憧れや、一時的なブームで終わってしまうのです。

必要なのは、その時に受けた刺激で行動し、未来への努力を継続することです。

行動し、実践して継続した時点で、成功する可能性は格段に上がるはずですよ。

「自分なんか…」と言う前に、何かしら実践し継続すること、動いてみるのが、大谷選手への何よりも敬意の表し方だと思います。

大谷選手の偉業は、ただの数字だけではなく、その裏側にある努力や思考プロセスが重要です。

私たちはつい、大谷選手の偉業（数字）ばかりに注目してしまいがちですが、野球への取り組み方、物事の方法など参考になり見習うべき点は多いのです。

感動（偉業＝数字）を受け取るだけで終われば、それは、それだけになってしまいます。

数字の裏側をしっかりと受け取り、消化し、自分に合わせて吸収することが大切です。そして、そのことを踏まえて、自分が一歩踏み出すことが重要なことです。



# 鶴中の学校生活

## 上級生と下級生の絆

勉強の仕方やテスト勉強の取組方について、上級生が下級生にアドバイスをするという取組を行っていました。10月23日(水)に3年生が1年生に、28日(月)に、やはり3年生が2年生に、ていねいに教えていました。

2階多目的ホールには、今年の3年生が現3年生に対して、「3年生の1年間」として、3年生に進級した4月から卒業までのスケジュールを大きな模造紙数枚に分けて書いてくれました。

現3年生は、それを見ながら、学校行事に頑張ったり、テスト勉強の計画をしたり、進路決定のイメージをつかんだりしています。

先輩と後輩の絆が強いのは、鶴中のとても良いところです。



## 道徳授業地区公開講座

10月29日(火)に実施した本講座は、保護者や地域の方々の参加のもとに、学校における道徳教育のあり方や学校・家庭・地域社会との連携について、相互の理解を深めることをねらいとしています。

全ての学年、全学級で道徳の授業を行い、その後協議会で意見交換をいたしました。



## 12月のおもな予定

12月 2日 (月)	三者面談 (～9日 午前授業)
12月 6日 (金)	I組の授業体験 (小学生対象)
12月 9日 (月)	朝礼
12月 10日 (火)	安全指導
12月 11日 (水)	一斉委員会
12月 14日 (土)	入試相談日
12月 16日 (月)	生徒会朝礼
12月 18日 (水)	中規模改修工事説明会 (全学年) 保護者会 (1、2年)
12月 24日 (火)	美化デー
12月 25日 (水)	終業式
1月 8日 (水)	始業式



## 町田市立中学校連合行事

### ○連合マラソン大会

11月1日(金) GION スタジアムにて、市立中学校特別支援学級に通う生徒によるマラソン大会が行われました。この日のために、授業では走り込みを行ってきました。走るのが好きな生徒は多くない1組です。しかし、「タイムを速くする」「昨年よりも順位を上げる」「歩かないで走りきる」「ペースを守って走る」など、それぞれが目標を立てて練習に励んできました。目標を立てたからには、そこに向かって努力することが大切ですが、つらくても手を抜くことなくしっかり練習を行ってきました。10月24日(木)の試走会では、自分の力を試したことにより、さらに「頑張ろう」と気持ちを強くもったように感じました。体調不良で走ることができない生徒もいましたが、見学をする中で同じように「本番に向けて頑張ろう」と気持ちを高めていました。

本番は緊張の中、スタートラインに立つ生徒もいましたが、全員が2100mを一杯出し切って走ることができました。当日走ることができない生徒も大きな声を出し応援をしました。結果は女子が2位の入賞、男子が6位、8位と非常によい結果を残すことができました。そして全員が今年の記録や試走会よりもタイムを上げることができました。マラソンは個人種目ではありますが、仲間同士で声を掛け合ったり、目標に向けて高め合ったり、つらい練習を乗り越えたりするのはまさに集団の力です。子供たちの力や可能性を改めて感じた大会となりました。

【入賞】距離2100m

女子の部	第2位	1年生	10分34秒
男子の部	第6位	3年生	8分20秒
男子の部	第8位	2年生	8分27秒



### ○秋の連合音楽会

11月7日(木) 町田市民ホールにて、各市立中学校代表生徒による合唱が行われました。本校では、6月に行った音楽祭で金賞を受賞した3年生の学級を鶴川中学校の代表として、毎年参加します。今年は、3年D組です。

音楽祭は1学期に行ったため、長い期間空いてしまった上での今回の参加は少し不安がありました。

しかし、そんな不安は歌いだすとすぐに消え去りました。一人一人の歌う表情がとってもよく、楽しそうに広いホールいっぱいに歌声を響かせていました。

歌い終わり、とても大きな拍手皆様からいただきましたことができました。



## 「いのち」の授業

11月20日(水)6校時、2年生を対象に「がん教育」の授業をとおして『いのち』の授業を実施しました。

お話をしてくださった講師の方は、小児がんでお子様を亡くされたお母さまでした。

講義の中でお母さまは、お子様の闘病生活を通じて次のようなお話をされました。

「生きることって…誰かと一緒にご飯を食べて、『美味しい!』『まずい!』と言う普通の幸せがあること。

普通に遊んだり、ゲームしたり勉強したり、怒られたり褒められたりなどの当たり前前の日常があること。

『夢』や『好きなこと』や、時には『嫌なこと』があること。

それは奇跡だと思います。」



普通に遊んだり、ゲームしたり勉強したり、怒られたり褒められたりなどの当たり前前の日常がある事。  
「夢」や「好きな事」や、時には「嫌な事」がある事。  
それは奇跡だと思います。

私たちは「当たり前前の日常」がどれほど貴重であるかを改めて認識しなければならないと思います。

健康で学校に通い、友達と遊び、家族と過ごす時間は、決して当たり前ではありません。日々の生活の中で、私たちは多くの人々の支えや努力によって成り立っていることを忘れがちです。

日常の中で「当たり前」と思っていることに目を向けてみてください。

そして、その一つ一つに感謝の気持ちを持つことが、大切です。

「生きているだけで、それは何にも代えることのできない貴重なこと」です。

## 教科と部活動



家庭科

第63回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会  
生徒作品展出品

3年 井峯 麻裕

「いらない布製品をリメイク：作品レポート」

半袖シャツを使って、巾着袋をつくりました。

小さめのサイズにしたり、裏地を付けたりと、工夫して製作しました。



女子硬式テニス部

2024年度秋季町田地区中学校テニス大会(団体戦)

鶴中 対 南大谷中 3-2 勝利

鶴中 対 玉川学園中 3-2 勝利

11月23日(土)決勝トーナメント

女子の部 第3位

12月に行われる多摩大会の出場権を得る



女子バスケットボール部

2024年度72地区中学校バスケットボール  
新人大会Fグループの結果です。

対 南大谷中 47対35 鶴川中勝利

対 日大三中 44対43 鶴川中勝利

対 つくし野中 46対32 鶴川中勝利

決勝トーナメント 1回戦(勝ち上がりました)

対 薬師中 20対74 薬師中勝利



男子バスケットボール部

2024年度 72地区 中学校バスケットボール  
新人大会の結果です。

対 小山田中 小山田中勝利

対 玉川学園中 鶴川中勝利

対 町田一中 町田一中勝利



レシピコンテスト

2年 加藤 妃菜

「夏バテ予防! さっぱり朝ごはん」をテーマに、疲労回復効果のあるビタミンB1が含まれる「オクラ」を使ったレシピを考え、つくりました。

他にも、体を冷やす作用がある「ナス」を使うなど工夫が見られました。



令和6年度「税についての作文」

東京納税貯蓄総連合会会長賞

3年生

八王子都税事務所長賞

3年生

# 各担当から

<教務部> 主任：櫻井 高幸 主幹教諭

先日行われた道徳授業地区公開講座では授業見学・意見交換会にご参加いただきありがとうございました。また、第2学年では授業準備にご協力いただきありがとうございました。意見交換会では、保護者の方と授業についてお話しさせていただき、大変貴重な機会となりました。今後の道徳授業を計画、実施する上で参考にさせていただきます。

本年度4月より、連絡用アプリ tetoru を導入し、当日の欠席連絡や学校からの通知文書の配信等で運用しております。遅刻や早退等があった場合には、実際に登校した時間や学校を出た時間が分かるように、担当した教員が入力していますのでご確認ください。

第3学期より給食が開始されます。現在は配膳するための環境を整える作業や教員が実際に配膳するに向けての研修を行う等、準備しています。子どもたちが温かい給食をスムーズに食べることができるように進めていきますので、もうしばらくお待ちください。

<生活指導部> 主任：遠田 拓也 主任教諭

委員会活動では、新たな生徒会本部や後期委員会が発足し、会長や委員長が2年生に替わりました。11月25日（月）の生徒会朝礼では、第2学年委員会や生活委員会、図書委員会が舞台上がり、活動を全校生徒に伝えていました。先輩もいる全校生徒の前で、2年生の代表生徒は緊張した様子でしたが、とても立派に話していました。

10月21日（月）～28日（金）には、ふれあい面談（担任との二者面談）を実施しました。午前授業の放課後の時間帯に実施したため、担任と生徒がゆっくりと話をすることができました。ご家庭と共有すべき内容は、担任や学年教員からご連絡いたします。今後も学校と家庭が協力し、生徒一人一人の成長を見守っていければ幸いです。何かお困りのことがあれば、来週の三者面談や12月18日（水）の保護者会で担任にお伝えください。



<学習進路部> 主任：高木 雄介 主幹教諭

先月、学習アドバイス活動という、3年生19名が1・2年生に学習方法をアドバイスする活動を行いました。1・2年生の各クラスに3年生が3、4名行き、「家庭学習や授業を受ける際に大事にしていること」や「学習計画の立て方」「各教科の学習方法」「ノートの取り方」などを説明しました。この活動の後には、教えてもらった1、2年生から3年生に「単語や人物などの覚え方を教えてもらったので参考にしたいです」「すきま時間の使い方を実行に移したいです」「受験頑張ってください」などのメッセージを送りました。

また、12月の三者面談では、11月15日（金）に行った復習確認テストの結果を返却いたします。

復習確認テストは、定期考査とは異なり、今まで学習した内容が範囲のテストになります。結果や返却された答案をもとに、これまでの学習内容の理解度を確認し、冬休み等の学習に生かしてもらえたらと思います。

